

令和6年4月6日(土)

令和6年度 始業式

皆さん、おはようございます。

ただいま司会の別府教頭先生からご紹介いただきました、岡野 親と言います。

この3月末に校長先生をご退任されました松木尚（まつき ひさし）先生の後を引き継ぎ、皆さんの東京都市大学附属小学校の校長となりました。どうぞ、よろしく申し上げます。

私は、もともと東京都のお隣、神奈川県で県立高校の先生や教育委員会というお役所でお仕事をしていました。2年前に縁をいただいて、この附属小学校をはじめとした東京都市大学グループの事務局で幼稚園から小学校、中学校、高校、大学までの各学校のバックアップ、下支えのお仕事をしていました。

実は附属小学校にも、この2年間で何度かお仕事の関係で来ていました。昨年の運動会も最後まで見させていただいていました。みんなが頑張っている姿を見て、本当にたくましさ、たのめしさを感じた一日でした。

なお、松木先生ですが、校長先生はご退任されましたが、4月からは都市大学グループ事務局で、私の仕事を引き継いでもらっています。ですから、松木先生もお仕事で附属小学校に来てくださることもあると思いますから、その時はしっかりと挨拶して、皆さんの成長した姿を見てもらいましょう。

さて、今日は新しい学年が始まる最初の日です。

1年前の始業式、2年生は入学式の日自分を思い起こしてください。あれから1年。どうですか。自分は成長したなと思いますか。どういう所が成長したと思いますか。もちろん、身長や体重など身体が大きくなったというのも成長ですが、外からの見た目、外見ではなく、私が尋ねているのは勉強面や心の成長のことです。

例えば、1年前よりも漢字を沢山書けたり、読めたりできるようになった、計算が早くなった、あるいは1年前よりも我慢強くなった、友だちや周りの人たちに優しくできるようになったなどです。

どうでしょうか。自分の成長を振り返ってみてください。

どうですか。

そうなんです。

皆さんはこの1年間で確実に成長しているはずです。もしかしたら自分が気づいていない部分も他の人から見れば成長していると思われるところも沢山あると思います。

皆さんは今日から1学年上がりました。でも、ただ年を一つ取って、学年が上がったわけではありません。それと共に、沢山の成長があります。だから自信を持ってください。胸を張ってください。

それでは逆に、1年たったけれども、自分のこういう所をもっと頑張って、伸ばしたい、直したい、出来るようになりたいといった事はありますか。つまり、自分がまだまだ足りていない、未熟なところと言ってもいいでしょう。どうでしょう。こちら誰も必ずあるはずですよ。そこで、その内のいくつでもいいので、今日から1年間の目標にしてみましょうか。あんまり欲張りすぎないでくださいね。目標にするという事はそのことをいつも頭のどこか片隅に置いて、意識する、そして取り組む、努力するという事ですから、そうしたことが1年間を通じてできることを目標としてみましょう。

最後に、私からここにいる全員共通の目標にしたいことが一つあります。

それは、「思いやりのある人になる」という事です。

明後日の4月8日(月)にある入学式で、76名の1年生が入学してきます。思い出してください。皆さんが付属小学校に1年生として入学してきたころのことを。今の皆さんのように自信にあふれ、胸を張って入学してきた人は少ないのではないのでしょうか。多くの人は幼稚園や保育園とは全く雰囲気が違う小学校に来て、不安でいっぱいだったのではないのでしょうか。

そこで、共通目標の「思いやりのある人」になるためにも、1年生を温かく迎え、廊下とかで何か困っている1年生を見かけたら、優しく声を掛けて、話を聞いてあげて助けてあげるなど、思いやりを持って接してください。

そして、友だちや今ここにいる上級生、下級生に対しても、この1年間、同じ気持ちを持って、思いやりを持って接してください。

さらに、学校の外でも、例えば家と学校との行き帰りのバスや電車の中、駅やバス停で、見ず知らずの人たちが周りに沢山いらっしゃると思いますが、そうした人たちに対しても、気配り、気遣いをしたり、困っている人がいたら声をかけてあげたり、してみてください。ここまでできるようになれば、共通目標の「思いやりのある人」にかなり近づいたと言えるのではないのでしょうか。

1年間、一人ひとりの目標に向かって、そしてみんなの共通目標に向かって、頑張ってください。

皆さんの取り組みに期待しています。よろしくお願いします。

以上で、始業式のわたくしからの話を終わります。

静かに聞いていただいて、ありがとうございました。